

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.49

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 *****



2面

白子川源流・水辺の会
菅沢 博さん



3面

練馬すずしろ会
富吉 廣雄さん



「税理士による会計・税務相談」を 活用してみませんか?

練馬区立区民協働交流センターでは、練馬区で活動するNPO等の地域活動団体を対象に、税理士による会計・税務相談を毎月実施しています(事前予約制)。団体の会計・税務について相談したい方はぜひご利用下さい。

【実施日時】 毎月第3火曜日 13時～16時(1団体あたり50分間)
※事前予約制です。申し込みが多い場合は先着順とします。
※第3火曜日が祝休日の場合、第4火曜日に実施します。

【担当税理士】 橋本久美子氏(東京税理士会練馬支部所属)

【予約方法】 実施日の1週間前までに、窓口、電話、メール等にて



【問い合わせ・申込み先】 練馬区立区民協働交流センター TEL:03-6757-2025 FAX:03-6757-2026
E-mail:KYODOSUISHIN02@city.nerima.tokyo.jp

白子川源流の豊かな水辺を守りたい

白子川源流・水辺の会



共同代表の菅沢 博さん

大泉井頭(いがしら)公園を源流に、新河岸(しんがし)川の合流点まで約10kmを流れる白子川。源流付近は湧水が出ていて川底が土のため、絶滅危惧種のホトケドジョウや、シマアメンボウなどの希少な生き物が見られます。そんなかけがえのない自然環境を守ろうと20年前から活動しているのが「白子川源流・水辺の会」です。

「ももとは、井頭憩いの森に隣接する広場を活用するため地域住民が活動していた『みどり広場運営委員会』が始まり。この中で川が好きなメンバーが白子川の水



親水エリアとして整備されている、大泉井頭公園の白子川源流地点。透明度が高く、川底までよく見えます

質調査や生物調査をするようになり、2001年に新たに会を立ち上げました」と話すのは、共同代表の菅沢さんです。

現在、会員は約90名。定期的な活動は、毎月第4日曜に行う川の清掃や生物調査、外来種の駆除などです。コロナ禍では有志による自主参加という形で活動を続け、最近ではアズマヒキガエルの産卵のためにカエル池を作ったそう。

会の活動で大きなものが、毎年10月に開催する「白子川源流まつり」。1,000人を超える来場者で賑わうイベントです。昨年はコロナ禍で中止となったため「ネット源流まつり」に切り替え、水中カメラで撮影した川の様子や生き物たちの写真と動画を配信しました。

「動画は音や川の様子をリアルに伝えられるので、白子川の記録を残すのに最適です。イベント終了後も、『白子川源流の小さなミュージアム』と題して、



絶好の遊び場として子どもたちにも大人気!

カルガモやコサギ、水中の魚たちの様子などを更新しています」

こうした活動と並行して設立当

初から続けているのが、大泉南小学校の4年生の学習支援。毎春、「白子川博士になろう!」をテーマに子どもたちと白子川に入り、生物や川のことについて学

ぶ総合学習のサポートを行っています。この取り組みを子どもたちが発表する場が、白子源流まつりなのです。教え子たちがおまつりを手伝いに来てくれることもあるそうです。

「湧き水が絶え間なく流れ出て多様な生き物が生息し、いつも子どもたちの歓声が聞こえる…それが、白子川の理想の姿。このままずっと続いてほしいですね。そのためにも多くの人に白子川を知ってもらい、川をきっかけに地域がより元気になることを願っています」

地域の宝とも言える白子川の美しい流れ。水辺や生き物の様子をホームページでぜひチェックしてみてください!

■白子川源流・水辺の会

共同代表：菅沢 博

TEL：080-5683-2366

メール：suga-lohas@jcom.home.ne.jp

HP：https://shirakogawa.tokyo

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■社会福祉法人丸紅基金「2021年度社会福祉助成金」

全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成を行います。

【助成金額】 上限額：1件あたり200万円

【応募期限】 2021年6月30日

【関連URL】 <https://www.marubeni.or.jp/>

【問い合わせ】 社会福祉法人 丸紅基金

〒100-8088 千代田区大手町1-4-2 丸紅ビル内

TEL：03-3282-7591/7592 FAX：03-3282-9541

E-mail：mkikin@marubeni.com

■一般社団法人芳心会 2021年度第2期助成金募集

【助成対象】 法人格を有し、公益活動または非営利活動などを行う団体またはその活動を支援する団体

【助成金額】 上限額：1件あたり100万円

【応募期限】 2021年7月1日～8月31日

【関連URL】 <https://houshin-kai.or.jp/>

【問い合わせ】 一般社団法人芳心会 事務局

〒102-0074 千代田区九段南4-3-8 九段大島ビル3階

TEL：03-6261-4552

E-mail：info@houshin-kai.or.jp

ラジオ体操で健康づくりと仲間づくりを!

練馬すずしろ会



会長の富吉 廣雄さん

健康づくりを目的に活動する練馬すずしろ会。2代目の会長を務める富吉さんは現在92歳で、朝5時に起床してウォーキングをした後、自宅近くの練馬総合運動場へ向かうのが日課です。6時に運動場の門が開くと、会のバッチを付けた会員が三々五々集まってきて、6時30分からラジオ体操第1・第2スタート!

さらにストレッチ体操、中国の体操である練功十八法、太極拳と続きます。全てを終えるまでに約40分。ラジオ体操だけ参加する人も多いそうですが、30名ほどが全メニューをこなしているのだとか。毎日最後まで



夏休みは子どもたちと一緒にラジオ体操(2006年7月)

しっかり体を動かしている富吉

さんは、「運動した後の朝食が一番おいしいですね。体力には自信がありますよ」と笑います。悪天候の日と年末年始を除き、40年以上欠かさず続けてきたという健康の証ですね!

初代会長がジョギング仲間15名ほどと一緒に会を立ち上げたのは、44年前のこと。当初はジョギングがメインでしたが、そのうちラジオ体操も始め、会員の年齢が上がるのに合わせて体操が中心に。さらに富吉さんが会長に就任してからは、穏やかな動きが中心の練功十八法と太極拳も取り入れました。

約130名いる会員は70代が中心ですが、下は30代、上は94歳と幅広い世代が所属しています。活動継続のために会費をきちんと集め、役員会を定期開

催し、会報も毎月発行。親交を深めるためのイベントも盛んで、ハイキングに行ったり、季節の花の名所を訪れたりしています。昨年度はコロナ禍で断念しまし



狭山湖へハイキング。手作りの旗を持ってみんなで記念撮影(2005年)

たが、年に1回はバス旅行も実施しており、再開できる日が待ち遠しいとのこと。ラジオ体操を行っている団体は数

多くあれど、組織体制が整っていて、これだけ多くの会員数を抱える団体は、都内では珍しいそうです。

「1人ではなかなか続けられませんが、みんなで集まるからできるのだと思います。毎日参加する方も、時々参加する方もいますが、長く続けている方が多いですよ」と富吉さん。体操を通じて仲間ができるのも大きなメリットだと言います。

ここ最近では、コロナ禍による運動不足で新規会員が増えているそう。ご近所の方は、早起きをしてぜひ一度見学に行ってみてはいかがでしょうか?

■練馬すずしろ会

会長：富吉 廣雄

TEL：03-3992-1352

■公益財団法人太陽生命厚生財団助成金

ボランティアグループ等が、在宅高齢者または在宅障がい者等のために、福祉活動や文化活動を行うための費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し助成します。(在宅高齢者・在宅障がい者等の家族のための福祉活動や文化活動を含みます。また、社会福祉法人等が行う在宅高齢者等への地域公益事業・生活支援事業を含みます)

【助成金額】1件あたり10万円～50万円

【応募期限】2021年6月末日

【関連URL】<http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局
〒143-0016 大田区大森北1-17-4 太陽生命大森ビル
TEL・FAX：03-6674-1217

■公益財団法人みずほ福祉助成財団「社会福祉助成金」

社会福祉の向上に寄与することを願い、主として障がい児者の福祉向上を目的とする事業や研究を対象に助成します。

【助成対象】国内において3年以上の継続した活動実績のある非営利法人(社会福祉法人、特定非営利活動法人等)、任意団体、ボランティアグループ等

【助成金額】20万円～100万円

【応募期限】2021年6月25日

【関連URL】<http://mizuhofukushi.la.coocan.jp/index.html>

【問い合わせ】

公益財団法人みずほ福祉助成財団 事務局
〒100-0011 千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行内幸町本部ビル
TEL：03-3596-5633 E-mail：BOL00683@nifty.com

つながるカレッジ ねりま

オンライン公開講座の 聴講生を募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。カリキュラムの中から、次の講座をYouTubeにより公開します。



自分のビジョンを見つけまちとつなげる

6月26日(土) 14時～16時

【講師】伊藤 由貴(こねくとういず代表)

自分の強みを理解しよう。自分の声に耳を傾け、想いを言語化し、まちとの関わり方を考えます。

【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名②氏名③電話④住所⑤メールアドレスを、6月22日までにポータルサイト(上記QRコード)、または下記の電話かメールにて申込み



<https://www.collegenerima.jp>

【問い合わせ】つながるカレッジねりま事務局 練馬区地域文化部協働推進課カレッジ担当係
TEL: 03-5984-1613 FAX: 03-3557-1351 E-mail: KYODOSUISHIN04@city.nerima.tokyo.jp

空き家を活用して地域に貢献しませんか?

みどりのまちづくりセンターでは、空き家を活用したまちづくりの促進を目指して、空き家活用相談窓口を設置しています(練馬区委託)。空き家の活用方法としては、高齢者の地域の居場所、子育て世代の交流スペース、放課後の児童の学習の場、多様な人々の地域活動の拠点などをイメージしています。

【対象】

●空き家の所有者の方

対象物件:練馬区内で、現在は居住用に使用していない住宅等
相談時の書類:物件の写真や間取り図など建物の概要が確認できる書類

●空き家を活用したい方

対象者:区内在住、在勤、在学の方。団体の場合は構成員の1/3以上が区民であること。政治、宗教、暴力団に関係しない活動であること。
相談時の書類:団体概要や活動の様子、実績など
※書類がなくても相談には対応します。



空き家を活用して
地域に貢献しませんか?



【活用事例】空き家を活用して園芸福祉をテーマとした居場所へ(NPO法人自然工房めばえ)

【問い合わせ】みどりのまちづくりセンター(空き家活用相談窓口担当)

TEL: 03-3993-5451 FAX: 03-3993-8070 受付時間 9時～17時 ※土日祝、年末年始(12月29日～1月3日)を除く
メール: machisen.2019@nerimachi.jp ホームページ: <https://nerimachi.jp/operation/akiya.php>



練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakodyokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター

ホームページ

<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)

※東京都が発表したまん延防止等重点措置を踏まえ、4月12日～5月11日は、開館時間を20時までに短縮します。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一歩の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一歩の会 練馬区高松 2-16-12 TEL: 03-3577-5666